

2018年12月20日

「福岡ソフトバンクホークスが福岡県に及ぼす経済波及効果」について ～2018年レギュラーシーズン～

この度、株式会社ふくおかフィナンシャルグループ（取締役社長 柴戸 隆成）のグループ会社である株式会社FFGビジネスコンサルティング（代表取締役社長 有田 徹也）は、福岡ソフトバンクホークス株式会社（代表取締役社長 後藤 芳光）の協力を得て、「福岡ソフトバンクホークス（以下、「ホークス」）が福岡県に及ぼす経済波及効果（2018年レギュラーシーズン）」の調査を行いました。

■調査結果～ホークスが福岡県に及ぼす経済波及効果（2018年レギュラーシーズン）～
 ⇒「①福岡 ヤフオク!ドームに会場した観客による消費額」及び「②メディア需要額」によって福岡県に及ぼす経済波及効果は、**約511億円**に達すると推計

（単位：百万円）

	【本件】 2018年レギュラーシーズン			【参考：前回調査】 2012年レギュラーシーズン		
	①観客消費	②メディア 需要	計	①観客消費	②メディア 需要	計
消費額	30,907	4,683	35,590	26,932	4,731	31,663
波及効果	43,209	7,902	51,111	41,638	7,877	49,515

※1 経済波及効果とは、イベント等によって新たに需要が発生した時に、その需要を満たすための生産が次々と誘発されていくことを指しており、一般的にその効果は、直接効果、第1次間接効果、第2次間接効果の3段階に分かれて推計されます。

※2 今回の推計にあたっては、観客へのアンケート調査やホークスから提供を受けたデータ等を基に「観客の消費額（交通費、宿泊費、飲食費、土産代・買物代、入場料・施設利用料）」と「メディアの需要額（ホークス戦の放映に伴うCM広告料、スポーツ紙の売上寄与）」を推計し、その数字を基に福岡県の経済波及効果分析ツールを使用して推計しました。

※3 今回の推計は、レギュラーシーズン中の福岡 ヤフオク!ドームでのホームゲーム開催にかかる観客の消費、及びメディア等の経済波及効果のみを試算したものであり、クライマックスシリーズ、日本シリーズ、及び2・3軍の試合等については、計算対象から除いております。

ホークスが福岡県に及ぼす経済波及効果は、本件調査対象以外にも、地域の知名度向上によるシティセールス効果やホークス応援セール等による売上増加効果も見込まれます。また、地域振興活動や復興支援活動等、数字では表せない部分においても、大きく貢献しています。

ふくおかフィナンシャルグループでは、今後も地域の活性化につながる調査、及び情報提供に努めてまいります。

以 上

《 本件に関するご照会先 》
 FFGビジネスコンサルティング 吉武・花谷
 TEL 092 - 723 - 2576